

## ご報告とお知らせ

コロナウィルス感染の第3波は、全国的な広がりを見せており、教育活動や研究活動にも状況に即した対応や配慮が求められるようになってきています。このような状況ではありましたがメールによる総会を経て、日本公民教育学会はお知らせした体制のもと、会務に取り組むことになりましたのでご報告申し上げます。併せてご多忙にも関わらず総会にご協力いただいた会員の皆様はこの場を借りてお礼を申し上げ、今後のご支援をお願いいたします。

現在、本学会の最大の課題は、来年予定されている全国研究大会をコロナ禍のもといかに開催するかということです。大阪教育大学が会場校となるこの大会につきましては、未だ先が読めない現状で開催方法を検討するという困難に直面しております。どのような方法で行うにしても会員の皆様の意欲的な参加が不可欠ですので、ご協力のほどよろしくをお願いいたします。

また、ハガキにてお知らせした本学会の科研プロジェクトの参加につきましては、まもなく申し込みの期限を迎えます。厳しい社会状況及び教育・研究環境ではありますが、ご参加いただき協働的に公民教育の発展にご尽力いただければ幸いです。学会誌『公民教育研究』への投稿もお待ちしております。

現在、学会運営についてはオンラインミーティングの活用など、これまでとは異なる対応を迫られておりますが、今後は研究活動などでも益々そうした機会が増えると思われれます。さらに学会からのお知らせにつきましても、これまで以上に学会ホームページの利用を図るとともに、会員の皆様にもメールで連絡をする機会が増えそうです。アドレスの変更などがありましたら、お手数ですが事務局へのメール連絡をお願いいたします。

ワクチンの開発による明るい話題も聞かれるようになりましたが、まだまだ厳しい感染状況が続くことが想定されますので、くれぐれもご自愛ください。

日本公民教育学会長 大澤 克美